

2020 年 11 月 25 日

東京都透析医会会員 各位

平素より大変お世話になっております。

ここ 10 日程度の間に、東京都 23 区では 12 人の COVID-19 透析患者が発生しており、これまで入院している患者と合わせて、非常に多くの患者が入院加療を受けております。このため、都内の COVID-19 透析患者の受け入れ施設はすでに満床に近い状況です。

このままでは入院透析の原則を守るのが困難となり、数回は自施設での透析をお願いすることになります。すでに東京都以外では、そのような状況になっている地域もあります。

また、東京都内の入院調整でも、今週より中 3 日での透析をお願いするケースがでております。このため、平時より、患者の体重増加やカリウム値など、十分な教育をよろしくお願ひいたします。

そして、すでに各施設におかれましたは、十分な感染対策を行っていると思いますが、今一度、感染予防の徹底をよろしく願いいたします。

なお、COVID-19 の透析室における感染予防策につきましては、日本透析医会 新型コロナウイルス感染対策ワーキンググループ作成の「新型コロナウイルス感染症に対する透析施設での対応について(第 5 報)」、日本透析医会・日本透析医学会・日本腎臓学会 新型コロナウイルス感染対策合同委員会作成の「COVID-19 新規感染者数急増に伴う透析施設での感染対策の徹底について」を参照ください。

東京都 COVID-19 透析医療コーディネータ

菊地 勘

2020 年 10 月 8 日発表

新型コロナウイルス感染症に対する透析施設での対応について(第 5 報) http://www.touseki-ikai.or.jp/htm/03_info/doc/20201008_action_for_covid19_v5.pdf

2020 年 11 月 19 日発表

COVID-19 新規感染者数急増に伴う透析施設での感染対策の徹底について

http://www.touseki-ikai.or.jp/htm/03_info/doc/20201008_action_for_covid19_v5.pdf